

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年11月26日(2015.11.26)

【公開番号】特開2013-141201(P2013-141201A)

【公開日】平成25年7月18日(2013.7.18)

【年通号数】公開・登録公報2013-038

【出願番号】特願2012-218512(P2012-218512)

【国際特許分類】

H 04 N 7/15 (2006.01)

H 04 L 12/18 (2006.01)

H 04 L 12/70 (2013.01)

G 06 F 13/00 (2006.01)

G 06 F 21/31 (2013.01)

【F I】

H 04 N 7/15 6 1 0

H 04 L 12/18

H 04 L 12/56 A

G 06 F 13/00 6 5 0 A

G 06 F 21/20 1 3 1 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月13日(2015.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

即ち、本願発明は、情報処理装置とウェブ会議をするための会議室情報を記憶するウェブ会議サーバとがネットワークを介して接続可能なウェブ会議システムであって、前記情報処理装置は、前記ウェブ会議サーバと接続するためにネットワークを利用している前記情報処理装置の位置情報を取得する位置情報取得手段と、前記位置情報取得手段で取得した位置情報を、前記ウェブ会議サーバに送信する位置情報送信手段と、前記位置情報送信手段で前記位置情報を前記ウェブ会議サーバに送信した結果、前記ウェブ会議サーバにより特定される当該情報処理装置が利用する前記会議室の機能制限情報を用いることにより、前記ウェブ会議を実施する会議室へ入室する入室手段と、を備え、前記ウェブ会議サーバは、前記位置情報および当該位置情報毎に利用可能な前記ウェブ会議で提供する機能の機能制限情報を定義情報として記憶部に記憶する定義情報記憶手段と、前記位置情報送信手段で前記情報処理装置より送信される前記位置情報を用いることにより、当該情報処理装置が利用する前記会議室の機能制限情報を、前記定義情報から特定する機能制限情報特定手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

情報処理装置とウェブ会議をするための会議室情報を記憶するウェブ会議サーバとがネ

ットワークを介して接続可能なウェブ会議システムであって、

前記情報処理装置は、

前記ウェブ会議サーバと接続するためにネットワークを利用している前記情報処理装置の位置情報を取得する位置情報取得手段と、

前記位置情報取得手段で取得した位置情報を、前記ウェブ会議サーバに送信する位置情報送信手段と、

前記位置情報送信手段で前記位置情報を前記ウェブ会議サーバに送信した結果、前記ウェブ会議サーバにより特定される当該情報処理装置が利用する前記会議室の機能制限情報を用いることにより、前記ウェブ会議を実施する会議室へ入室する入室手段と、を備え、

前記ウェブ会議サーバは、

前記位置情報および当該位置情報毎に利用可能な前記ウェブ会議で提供する機能の機能制限情報を定義情報として記憶部に記憶する定義情報記憶手段と、

前記位置情報送信手段で前記情報処理装置より送信される前記位置情報を用いることにより、当該情報処理装置が利用する前記会議室の機能制限情報を、前記定義情報から特定する機能制限情報特定手段と、

を備えることを特徴とするウェブ会議システム。

#### 【請求項2】

ウェブ会議をするための会議室情報を記憶し、情報処理装置とネットワークを介して接続可能なウェブ会議サーバにおいて、

前記情報処理装置が前記ウェブ会議で利用する会議室への入室に利用するネットワークを利用している当該情報処理装置の位置情報および当該位置情報毎に利用可能な前記ウェブ会議で提供する機能の機能制限情報を定義情報として記憶部に記憶する定義情報記憶手段と、

前記情報処理装置より送信される前記位置情報を用いることにより、当該情報処理装置が利用する前記会議室の機能制限情報を、前記定義情報から特定する機能制限情報特定手段と、

を備えることを特徴とするウェブ会議サーバ。

#### 【請求項3】

前記位置情報に対応する前記機能制限情報が、前記定義情報に記憶されていない場合、前記ウェブ会議で利用する会議室には入室できないことを示す警告を情報処理装置に送信する警告送信手段を更に備えることを特徴とする請求項2に記載のウェブ会議サーバ。

#### 【請求項4】

前記情報処理装置より送信される端末識別情報を用いることによって、該情報処理装置に送信すべきウェブ会議画面情報の種類を決定する決定手段と、

前記決定手段で決定した前記ウェブ会議画面情報を前記情報処理装置に送信するウェブ会議画面情報送信手段と

を更に備えることを特徴とする請求項2または3に記載のウェブ会議サーバ。

#### 【請求項5】

前記機能制限情報には、前記情報処理装置のスピーカーの利用の可否についての設定が含まれてあり、当該設定は、前記スピーカーの利用が不可となっている場合であっても、当該情報処理装置にイヤホンが装着されている場合にはイヤホンへの音声出力を行い、一方、イヤホンが装着されていない場合には、音声の出力をさせないよう設定されていることを特徴とする請求項2乃至4のいずれか1項に記載のウェブ会議サーバ。

#### 【請求項6】

前記機能制限情報には、前記情報処理装置のスピーカーの利用の可否についての指定が含まれてあり、当該指定には、前記スピーカーの利用が不可となっている場合には、音声の音声認識を行うことによって前記音声をテキスト化し表示するよう設定されていることを特徴とする請求項2乃至5のいずれか1項に記載のウェブ会議サーバ

#### 【請求項7】

前記機能制限情報には、前記テキスト化される場合であっても当該テキストを非表示と

する所定のNGワードが登録されていることを特徴とする請求項6記載のウェブ会議サーバ。

【請求項8】

前記会議室は、複数設定することが可能であり、前記機能制限情報は、前記会議室に対してそれぞれ設定する事が可能であることを特徴とする請求項1乃至7記載のウェブ会議サーバ。

【請求項9】

ウェブ会議をするための会議室情報を記憶するウェブ会議サーバとネットワークを介して接続可能な情報処理装置において、

前記ウェブ会議サーバと接続するためにネットワークを利用している前記情報処理装置の位置情報を取得する位置情報取得手段と、

前記位置情報取得手段で取得した位置情報を、前記ウェブ会議サーバに送信する位置情報送信手段と、

前記位置情報送信手段で前記位置情報を前記ウェブ会議サーバに送信した結果、前記ウェブ会議サーバにより特定される当該情報処理装置が利用する前記会議室の機能制限情報を用いることにより、前記ウェブ会議を実施する会議室へ入室する入室手段と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項10】

前記入室手段で前記ウェブ会議を実施する会議室へ入室した後、予め設定されている時間が経過したか否かを判定する経過判定手段を更に備え、

前記経過判定手段で、前記入室手段で前記ウェブ会議を実施する会議室へ入室した後、予め設定されている時間が経過したと判定した場合に、前記位置情報を再度取得し、

前記位置情報送信手段で送信した第一の位置情報と、前記経過判定手段により予め設定されている時間が経過したと判定されることにより再度取得した第二の位置情報とが同一であるか否かを判定する変更判定手段と、

前記変更判定手段で前記第一の位置情報と前記第二の位置情報とが同一であると判定した場合に、前記入室手段で入室している前記会議室との通信を続行し、一方、前記変更判定手段で前記第一の位置情報と前記第二の位置情報とが同一ではないと判定した場合に、前記ウェブ会議サーバで前記第二の位置情報が前記ウェブ会議サーバに接続可能な位置情報であるか否かを判定すべく、前記位置情報送信手段で前記第二の位置情報を、前記ウェブ会議サーバに送信することを特徴とする請求項9記載の情報処理装置。

【請求項11】

情報処理装置とウェブ会議をするための会議室情報を、ウェブ会議サーバと接続するためにネットワークを利用している前記情報処理装置の位置情報をおよび当該位置情報を毎に利用可能な前記ウェブ会議で提供する機能の機能制限情報を定義情報として記憶する定義情報記憶手段を備えるウェブ会議サーバと、がネットワークを介して接続可能なウェブ会議システムの制御方法であって、

前記情報処理装置において、

前記ウェブ会議サーバと接続するためにネットワークを利用している前記情報処理装置の位置情報を取得する位置情報取得ステップと、

前記位置情報取得ステップで取得した位置情報を、前記ウェブ会議サーバに送信する位置情報送信ステップと、

前記位置情報送信ステップで前記位置情報を前記ウェブ会議サーバに送信した結果、前記ウェブ会議サーバにより特定される当該情報処理装置が利用する前記会議室の機能制限情報を用いることにより、前記ウェブ会議を実施する会議室へ入室する入室ステップとを含み、

前記ウェブ会議サーバにおいて、

前記位置情報送信ステップで前記情報処理装置より送信される前記位置情報を用いることにより、当該情報処理装置が利用する前記会議室の機能制限情報を、前記定義情報から特定する機能制限情報特定ステップと、

を含むことを特徴とする制御方法。

【請求項 1 2】

情報処理装置とウェブ会議をするための会議室情報と、ウェブ会議サーバと接続するためにネットワークを利用している前記情報処理装置の位置情報および当該位置情報毎に利用可能な前記ウェブ会議で提供する機能の機能制限情報を定義情報として記憶部に記憶する定義情報記憶手段を備えるウェブ会議サーバと、がネットワークを介して接続可能なウェブ会議システムを制御するプログラムであって、

前記情報処理装置を、

前記ウェブ会議サーバと接続するためにネットワークを利用している前記情報処理装置の位置情報を取得する位置情報取得手段と、

前記位置情報取得手段で取得した位置情報を、前記ウェブ会議サーバに送信する位置情報送信手段と、

前記位置情報送信手段で前記位置情報を前記ウェブ会議サーバに送信した結果、前記ウェブ会議サーバにより特定される当該情報処理装置が利用する前記会議室の機能制限情報を用いることにより、前記ウェブ会議を実施する会議室へ入室する入室手段として機能させ、

前記ウェブ会議サーバは、

前記位置情報送信手段で前記情報処理装置より送信される前記位置情報を用いることにより、当該情報処理装置が利用する前記会議室の機能制限情報を、前記定義情報から特定する機能制限情報特定手段

として機能させることを特徴とするコンピュータで読み取り実行可能なプログラム。

【請求項 1 3】

ウェブ会議をするための会議室情報と、ウェブ会議サーバと接続するためにネットワークを利用している情報処理装置の位置情報および当該位置情報毎に利用可能な前記ウェブ会議で提供する機能の機能制限情報を定義情報として記憶部に記憶する定義情報記憶手段を備え、情報処理装置とネットワークを介して接続可能なウェブ会議サーバの制御方法であって、

前記情報処理装置より送信される前記位置情報を用いることにより、当該情報処理装置が利用する前記会議室の機能制限情報を、前記定義情報から特定する機能制限情報特定ステップ

とを備えることを特徴とする制御方法。

【請求項 1 4】

ウェブ会議をするための会議室情報とウェブ会議サーバと接続するためにネットワークを利用している情報処理装置の位置情報および当該位置情報毎に利用可能な前記ウェブ会議で提供する機能の機能制限情報を定義情報として記憶部に記憶する定義情報記憶手段を備え、情報処理装置とネットワークを介して接続可能なウェブ会議サーバを制御するプログラムであって、

前記ウェブ会議サーバを、

前記情報処理装置より送信される前記位置情報を用いることにより、当該情報処理装置が利用する前記会議室の機能制限情報を、前記定義情報から特定する機能制限情報特定手段

として機能させることを特徴とするコンピュータで読み取り実行可能なプログラム。

【請求項 1 5】

ウェブ会議をするための会議室情報を記憶するウェブ会議サーバとネットワークを介して接続可能な情報処理装置の制御方法であって、

前記ウェブ会議サーバと接続するためにネットワークを利用している前記情報処理装置の位置情報を取得する位置情報取得ステップと、

前記位置情報取得ステップで取得した位置情報を、前記ウェブ会議サーバに送信する位置情報送信ステップと、

前記位置情報送信ステップで前記位置情報を前記ウェブ会議サーバに送信した結果、前

記ウェブ会議サーバにより特定される当該情報処理装置が利用する前記会議室の機能制限情報を用いることにより、前記ウェブ会議を実施する会議室へ入室する入室ステップとを備えることを特徴とする制御方法。

【請求項 1 6】

ウェブ会議をするための会議室情報を記憶するウェブ会議サーバとネットワークを介して接続可能な情報処理装置を制御するプログラムであって、

前記情報処理装置を、

前記ウェブ会議サーバと接続するためにネットワークを利用して前記情報処理装置の位置情報を取得する位置情報取得手段と、

前記位置情報取得手段で取得した位置情報を、前記ウェブ会議サーバに送信する位置情報送信手段と、

前記位置情報送信手段で前記位置情報を前記ウェブ会議サーバに送信した結果、前記ウェブ会議サーバにより特定される当該情報処理装置が利用する前記会議室の機能制限情報を用いることにより、前記ウェブ会議を実施する会議室へ入室する入室手段

として機能させることを特徴とするコンピュータで読み取り実行可能なプログラム。